



研究キーワード 廃棄物系バイオマス, 海面埋立地の早期安定化, バイオ炭, 生分解性ゴム, 炭酸化処理

金 相烈

KIM, SangYul

サステナビリティ研究所所長
教授

所属…環境学部 環境学科 大学院 環境経営研究科 環境学専攻

■**専門分野** 廃棄物工学, 資源循環工学, 環境化学
現在の研究テーマ

- ・しいたけ形成菌のフタ材として生分解性ゴムの開発
- ・焼却残さの炭酸化処理による二酸化炭素の削減に関する研究
- ・海面埋立地の早期安定化に関する研究
- ・バイオ炭の土壌改良材としての活用に関する研究

■論文

- ・「Compartment model of aerobic and anaerobic biodegradation in a municipal solid waste landfill」(共著), 2007年, Waste Management & Research 第25巻

■国際会議

- ・「Effect of carbonation treatment of incinerator ash on the stabilization of offshore landfill」(共著), 2018年, The 10th Asia-Pacific Landfill Symposium in 2018 (APLAS2018), Tokyo, Japan
- ・「A Study on Potential Improvement of Waste Manifest Systems For Establishing a Recycling-Based Society」(共著), 2013年, Proceedings of 2013 World Congress of International Solid Waste Association (ISWA), Vienna, Austria

■報告書

- ・「焼却排ガスの活用による都市ごみ焼却残渣の炭酸化処理による温室効果ガス削減及び海面埋立処分場の安定化促進に関する研究」(単独), 2018年2月, 廃棄物の適正処理・水処理に係る調査研究助成, 大阪湾広域臨海環境整備センター
- ・「産業廃棄物不適正処理事案における環境修復の取組から得られたもの」～四日市市大谷知・平津事案のリスクコミュニケーションを通じて～(共著), 2016年3月, 三重県環境生活部 廃棄物対策局
- ・「東日本大震災による漂流ごみの移動経路把握による二次災害防止に関する研究」(共著), 2013年～2014年, 環境研究総合推進費, 環境省
- ・「バイオマスの利活用を基軸とした地域循環圏のモデル化と普及方策に関する研究」(共著), 2010年～2013年, 環境研究総合推進費, 環境省

■**所属学会** 日本廃棄物資源循環学会, 韓国廃棄物資源循環学会

■**取得学位** 博士(工学)(北海道大学)

■略歴

- 2000年9月 北海道大学大学院工学研究科資源環境工学専攻修士課程修了
- 2004年4月 オーストラリアウィン工科大学客員研究員
- 2006年10月 北海道大学大学院工学研究科特任助教
- 2013年4月 鳥取環境大学環境学部環境学科講師
- 2021年10月 公立鳥取環境大学環境学部環境学科/大学院環境経営研究科環境学専攻教授

■**主な担当科目** 3R工学, 廃棄物処理技術, 応用化学概論

SDGs関連項目



《研究内容の紹介・授業の特徴等》

廃棄物・資源循環分野を中心に、地域から国内外の環境課題につながる実践的研究を行っている。授業ではディベートや外部講師による特別講義を取り入れ、現場とのつながりを重視している。